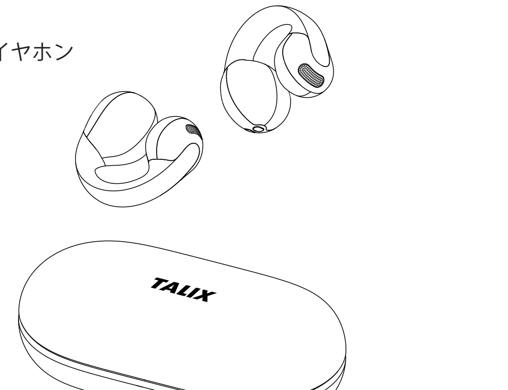
说明卡-80G书写纸单色双面印刷90*90mm/风琴折叠　**反面**

TALIX

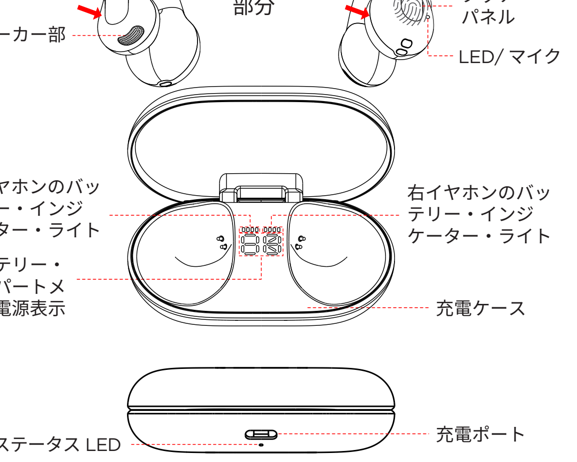
X7

オープン型イヤホン

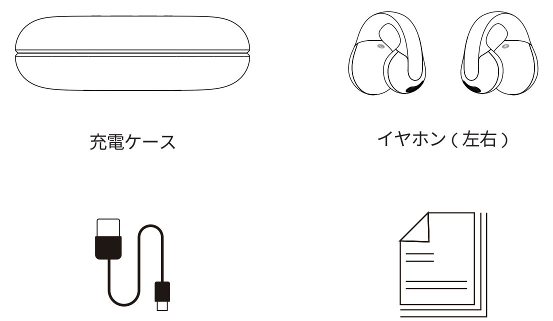


ユーザー・マニュアル

製品概要



内容物

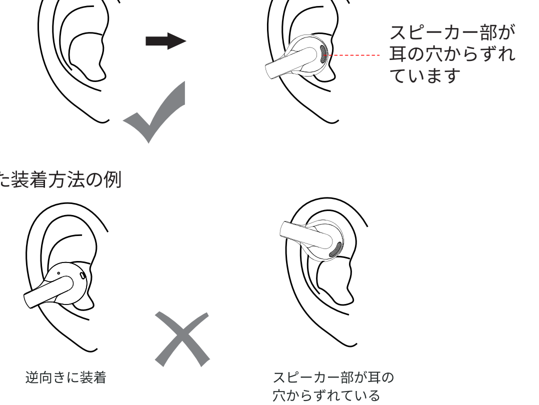


上の写真は参照のみを目的としており、実際のアイテムは異なる場合があります。

装着

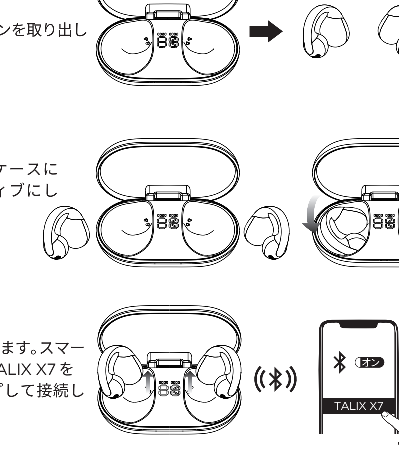
イヤー・フックを軽く伸ばし、耳たぶに当てます。スピーカー部が耳の穴に向くようにしてください。次に、イヤホンが快適にフィットするように位置を調整します。イヤー・フックを過度に曲げたり伸ばしたりしないでください。最高のつけ心地を保つために大切なものです。

* 正しい装着方法の例
* 誤った装着方法の例

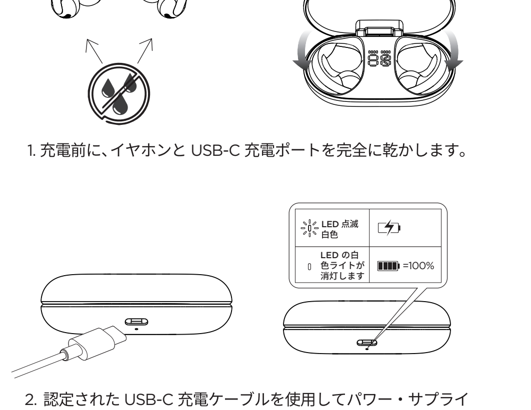


初回接続

1. 両方のイヤホンを取り出し
2. イヤホンをケースに戻してアクティブにします。
3. 再度取り出します。スマートフォンで TALIX X7 を検索し、タップして接続します。

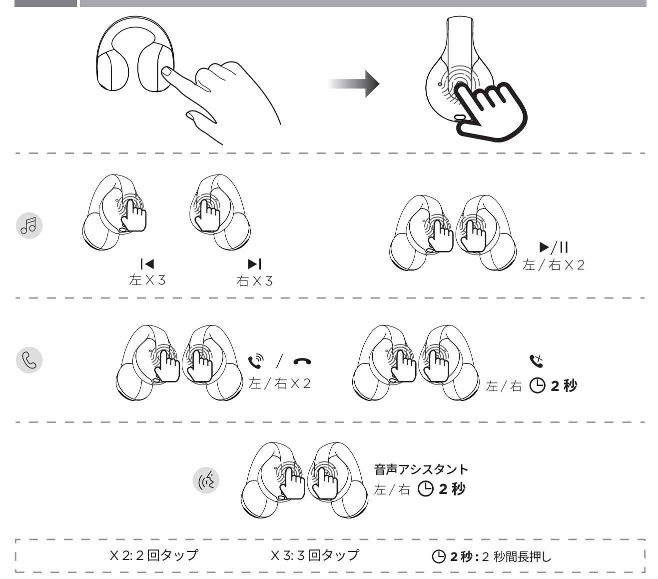


充電中



1. 充電前に、イヤホンと USB-C 充電ポートを完全に乾かします。
2. 認定された USB-C 充電ケーブルを使用してパワー・サプライに充電ケースを接続します。初めて使用する前に、イヤホンと充電ケースを完全に充電します。

コントロール



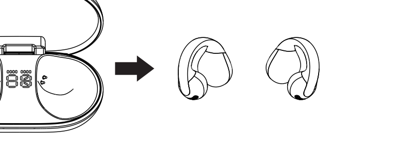
コントロール

	電源オン	1. フタを開けてイヤホンを取り出すと電源が入ります。 2. イヤホンが充電ケースから取り出された後に自動で電源オフになった場合は、タッチ操作部を 3 秒間長押しすると電源が入ります (LED インジケーターが点灯します)。
	電源オフ	イヤホンを戻します
	一時停止 / 再開	2 回タップします (左 / 右)
	次のトラック	3 回タップします (右)
	通話に出る/通話を切る	2 回タップします (左 / 右)
	通話を拒否する	2秒間タップしたままにします (左 / 右)
	音声アシスタント	2秒間タップしたままにします (左 / 右)

電源オフ

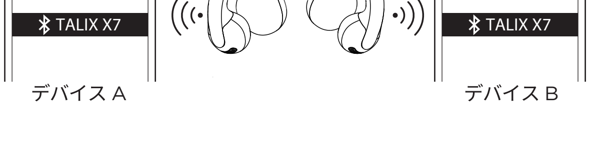


1. 電源をオフにするには、イヤホンを充電ケースに戻して、ケースを閉じます。
2. イヤホンが接続されていない場合、イヤホンの電源は 5 分後に自動的にオフになります。



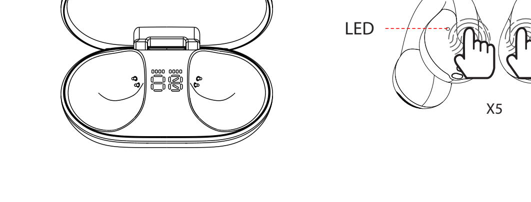
3. イヤホンが充電ケースから取り外されているときに電源が自動的にオフになったら、3S MFB ボタンを長押しすることでイヤホンをオンにすることができます。

マルチポイント



1. ヘッドホンがデバイス A に接続されている状態で、両方のタッチパネルを同時に 3 秒間長押しすると、2 つ目の Bluetooth 接続チャンネルが開きます。
2. デバイス B で、「TALIX X7」を検索し、「接続」をタップします。

リセット



イヤホンをデバイスから切断します。30 秒以内に L と R のパネルを同時に 5 回タップします。LED が素早く 3 回点滅すると、リセットが正常に完了したことを示します。

* イヤホンが接続できない場合は、以下の手順をお試しください。

FAQ

1. Q: 1 つのイヤホンのみで音が聞こえる場合はどのように解決しますか？
   A: 両方のイヤホンを充電ケースに戻してふたを閉め、再度イヤホンを取り出し、両方のイヤホンで音がするかどうかを確認します。まだ 1 つのイヤホンのみで音が聞こえる場合は、両方のイヤホンを工場出荷時設定にリセットします。
2. Q: スマートフォンに「接続できません」と表示される場合はどのように解決しますか？
   A: スマートフォンでペアリング・レコードを削除し、検索して再度ペアリングすることで再接続します。
3. Q: 音楽の再生または通話中に音が聞こえない問題をどのように解決しますか？
   A: Android スマートフォンの場合は、Bluetooth デバイス名の横にある設定アイコンをタップし、「スマートフォンの音声」と「メディアの音声」の両方をオフにして、再度オンにします。それでも音が聞こえない場合は、イヤホンをスマートフォンに再度ペアリングします。
4. Q: ビデオまたはゲームに遅延が発生するのはなぜですか？
   A: 使用環境、ネットワーク条件、スマートフォンの音声デコーディングなどの要件のため、音声データをスマートフォンからイヤホンに送信する際に、さまざまな程度の遅延が発生する可能性があります。
5. Q: 不安定または断続的な音をどのように解決しますか？
   A: 近くに干渉を引き起こす強力な Wi-Fi 信号、5G/4G 信号、強力な電気装置がある場合は、不安定または断続的な音につながる可能性があります。場所を変えるか、接続を再度ペアリングして、問題を解決してみてください。

その他の質問がある場合は、アフター・セールス・チームにご連絡ください。

注意

温度/湿度範囲: 製品を乾燥した換気の良い場所に置き、腐食性物質に接触しないようにし、火気や熱源から遠ざけて保管してください。保管時には、製品を 3 か月に 1 回充電する必要があります。
動作温度: 0～ 40℃　保管温度: -10～ 45℃　動作湿度: 70% 未満　保管時の湿度: 70% 未満

警告:
1. 本製品の清掃には研磨用洗剤を使用しないでください。
2. 本製品を加熱したり、火気 (料理用コンロなど) の近くに置かないでください。
3. 本製品を直射日光に長時間当てないでください。
4. 爆発を避けるため、この製品を火の中で処分しないようにしてください。
5. 本製品には保守コンポーネントが含まれていないため、本製品を分解して変更を加えようとしないでください。
6. この製品を雨の中で使用しないでください。
7. 製品を長時間使用しない場合は、乾燥した環境で保管してください。また、寿命を延ばし、極端な温度やほこりを避けるために、少なくとも月に 1 回充電してください。

通知
1. 本製品は、高温下または高湿度の環境下、極端に寒い条件、ほこりの多い条件、高電磁気放射および雷の条件下で使用しないでください。
2. 充電には純正以外の充電アクセサリーを使用しないでください。
3. 充電時間が 1.5時間を超えないようにしてください。
4. 長時間使用しない場合は、60 日おきに再充電してください。
5. 聴覚に損傷を与えないように、長時間使用する場合は 60 デシベルを超えないようにしてください。
6. 任意に分解しないでください。分解した場合は、保証が行われません。
7. 製品の有効期限が切れた後は、専門のリサイクル業者に届けることができます。環境を汚染しないように任意の場所に捨てないでください。

安全に関する一般的な情報

① イヤホンの損傷やバッテリーの自然発火を防ぐために、イヤホンを分解しないようにしてください。サポートについては、認定保守サービスにお問い合わせください。
② 運転中にイヤホンを使用する場合は、現地の規制に従ってください。
③ ワイヤレス性能の損傷やバッテリー駆動時間の短縮を防ぐために、ワイヤレス　イヤホンを高温な場所 (50℃/122˚F を超える) に配置しないでください (例、日光にさらすなど)。
④ イヤホンを大音量で長時間使用すると、聴覚を損傷する場合があります。

問題判別

問題	原因	解決法
電源オンにできない	バッテリー切れ	イヤホンを充電する
充電できない	充電器プラグがしっかりとまたは正しく接続されていなかった	充電器を差し直す
電源オフにできない	誤った操作でイヤホン・プログラムにエラーが発生した	充電器を使用して充電およびリセットする
検索またはペアリングできない	イヤホンがペアリング状態にならなかった	イヤホンをペアリング・モードにする
	特定の電話のワイヤレス・アプリケーション・プログラムに問題が発生した	もう一度、電源オフにし、イヤホンとペアリングする

日本国内のユーザーへのお知らせ

以下の製品に関する情報が記載されています。
日本国内でBluetooth/2.4GHz帯無線アダプターをご使用になる場合の注意
本製品が装備する無線アダプターは、電波法技 術基準認証を下記のとおり取得しています。本製品に組み込まれた無線設備を他の機器で使用する場合は、当該機器が上記と同じく認証を 受けていることをご確認ください。認証されていない機器での使用は、電波法の規定に より認められていません。

認証番号	認証製品名	認証申請者名
R 007-AQ0058	TALIX X7	LENOVO (BEIJING) LTD

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業　科学　医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用さ れている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無 線局が運用されていないことを確認してください。
2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに 使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上で、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のため の処置等についてご相談ください。
3.その他、この機器からの移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電 波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、次の連絡先にお問い合わせくだ さい。

2.4FH8

NFCをご使用になる場合の注意
本製品が装備するNFCは無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。使用周波数は13.56MHz帯で す。周囲で他の製品のNFC機能を使用する場合は充分に離してお使いください。また他の同一周波数帯を利 用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
使用環境および快適に使用するために
は無線周波数電磁波を発します。しかしながらこの製品がが発する電磁波が人体へ与える影響は、頭部等へ 直接接触して使用される携帯電話などの機器とは異なり、とても弱いレベルのものです。
一般的にPCなどに使用される無線装置は、無線周波数に関する安全基準や勧告などのガイドラインに従っ て動作するもので、Lenovoは、消費者がこれらの無線装置を使用しても安全であると考えます。これらの標 準および勧告は、科学者団体の合意や広範な研究文献を頻繁に検討、調査している科学者のパネルや委員会 の審議の結果を反映しています。
状況や環境によって、建物の所有者や組織の代表責任者が無線装置の使用を制限することがあります。たと えば、次のような場合や場所です。

飛行機の搭乗中、病院内、あるいはガソリンスタンド、(電気式発火装置のある) 爆発の危険のある場所、医 療用インプラント、またはペースメーカーなどの装着式医療用電子機器の近くで、内蔵ワイヤレス　カード を使用すること。
他の装置や機能に対して有害と認識または確認されている妨害を起こす危険性がある場合。
特定の場所で(たとえば空港や病院など)の使用が許可されているかどうかがわからない場合は、本製品の電 源を入れる前に使用してもよいかどうかをお尋ねください。=

本製品には、販売日から 1 年間、マシン部品、材料および機能の通常使用および保守に限定された保証が適用されます。さらなる識別時に検証された問題と障害については、無料の修理および交換部品が提供されます。

本保証は以下には適用されません。
(A) 保証期限が切れている製品。
(B) IGRS が説明している許可または意図された使用以外で製品を操作した場合に発生した損傷。
(C) IGRS の許可を受けずに分解、修理、または変更した製品。
(D) 保証カードおよび購入証明を提示できない場合。
(E) 震災、火災、またはその他の外因、自然災害などにより発生した損傷。

注: 保証には製品の輸送費は含まれず、オンサイト保守サービスは提供されません。

IGRS は、本保証の解釈を明確にする権利を有します。

support@smartwegear.com

保証フィードバック・フォーム（チェックしてください）

A. 音が出ない　B. 音質の低下　C. ボタンの不具合　D. 他のデバイスをペアリングできない
E. 再充電できない　F. その他

購入時期

販売取扱店

問題の発生時期

ユーザーの連絡先情報

FCC Statement

FCC ID: A5MOW1406

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

(A) Reorient or relocate the receiving antenna.
(B) Increase the separation between the equipment and receiver.
(C) Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
(D) Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC Radiation Exposure Statement
The radiated energy from above products conform to the FCC limit of the SAR (Specific Absorption Rate) requirement set forth in 47 CFR Part 2 section 1093.
Lenovo is not responsible for any radio or television interference caused by using other than specified or recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.
This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that maycause undesired operation.

ISED Statement

This device complies with Innovation, Science and Economic Development Canada license-exempt RSS standard(s).
Operation is subject to the following two conditions:
(1) this device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may causeundesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux CNR Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.
L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:
(1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
(2)l'utilisateur de l'appareildoit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Exposure of humans to RF fields (RSS-102)
The device employs low gain integral antennas that do not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's Web site at **http:/www.hc-sc.gc.ca/.**

The radiated energy from the antennas connected to the wireless adapters conforms to the lC limit of the RF exposure requirement regarding lC RSS-102, lssue 6.